



創立151年

教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子
わにっこり

和邇小だより 令和6年 夏休み号

児童数382名 文責 澤村幸夫



自然を五感で感じる体験



1年生が毎日大切にお世話をしている「アサガオ」の花が色鮮やかに咲いています。色とりどりで、赤、ピンク、水色、青、ふちどりなどさまざまです。

アサガオの花の多くは、開花したその日のうちにしぼんでしまいます。せっかく綺麗に咲いたのだから、長く花を楽しみたいところですが、これは、花びらがたいへん薄く、水分が蒸発しやすいためで、受粉のためしべを乾燥から守る役割もあります。多くの花は、一定期間咲くことで、虫たちに受粉を手伝ってもらうわけですが、アサガオはいったいどうしているのでしょうか。実は、アサガオは自家受粉する植物なのです。つぼみの時、アサガオのめしべはおしべより少し長い状態ですが、成長するにしたがって、おしべがめしべを追い抜いていきます。その際に、おしべがめしべに触って花粉をつけ、受粉するのです。受粉は開花前に行われるので、開花時間が短くても、種子をつくることができます。アサガオは、毎日見る身近な花ですが、意外に謎の多い植物です。この夏休みは、じっくりとアサガオの観察を試みるのも良いかもしれません。

さて、子どもたちが待ちに待った夏休みがやってきました（親にとっては、そんなのきなことを言っている場合ではありませんが）。私自身も子どもの頃、夏休みがやってくるのを今か今かと待っていたものです。近くの森に、クワガタやカブトムシを採りに行ったこと、ラジオ体操に毎日参加して輝くシールをもらったこと、アサガオやヘチマの栽培をしたこと、家族に手伝ってもらった工作、子供会で行った川遊び、家族で行った山登りや海水浴、近所の夏祭りの花火など、この年齢になった今でも、当時の楽しい思い出が鮮明に蘇ってきます。

夏は生命やエネルギーを最も感じる季節です。子どもたちにとっての夏休みは、体を休める期間ではなく、成長する期間です。虫やカエルの鳴き声、スイカの味、線香花火の匂い、冷たい川の水など、自然を五感で感じながら過ごす体験は、子どもたちの豊かな情操や感性を養います。また、楽しいときこそ、人は前向きになることができます。

今年の夏休みは、「夏休みでなければできないこと」「夏休みだから思い切り取り組めること」にぜひチャレンジしてほしいと思います。そして、「自分で決めたことをやりきった」と実感できる夏休みにしてほしいと願っています。

夏休みが終わったら、子どもたちが元気な顔で登校し、夏休みの頑張りや楽しい思い出をたくさん話してくれることを楽しみにしています。



学校のイエローコメット
本文との関連はありません。

1年生 大きなカブの音読



1年生の国語では、「大きなカブ」の音読に取り組みました。グループごとに読み方を工夫して、個性あふれる音読になりました。

2年生 大きな木

2年生は図工の学習でクレヨンと絵の具を使って大きな木を描きました。にぎやかで楽しい大きな木ができました。



3年生 歯科保健指導 7/4

歯科保健指導を行いました。健康な身体は健康な歯からと言われるほど、歯は大切なものです。正しいブラッシングを心掛けたいものです。



4年生 防犯教室 6/28

万引きの危険と不審者の危険、交通の危険について、劇やパネルを使って教えていただきました。自分の心と体を守るために、大切なことを学びました。



5年生 着衣泳とライフジャケット

夏休みを目前に、水難事故に遭わないように、服を着たまま水に入るとどうなるかを体験しました。また、ライフジャケットの正しい付け方や、ライフジャケットを着て水に浮くことを経験しました。夏休みは事故に遭わない楽しいものにしてほしいと思います。



6年生 スマホ教室 7/1



インターネットの便利さと恐ろしさについて学びました。SNSの普及により私たちの生活は便利になりましたが、

一方で子どもたちのSNSによるトラブルが多発しています。活用時の注意点についてしっかり学び、これからの生活に活かしてほしいと思います。

お花 ザリガニ

お花学級では、ザリガニを採りに行きました。ザリガニを育てて、力強い絵を描きました。



かわいいチンアナゴ

ここを
クリック

期間限定 7/19~3/31

← 学校のチンアナゴの動画です。ご覧ください。

↓ わにっこギャラリー
2024夏を開催!!

2024
わにっこギャラリー

期間 7月23日(火)~8月22日(木)
時間 9時30分~18時 *最終日は16時まで
場所 和邇平和堂2F
わに平ギャラリー 都千本

和邇小学校の児童の作品を展示しています
どうぞお立ち寄りください



和邇小学校の
ホームページ

和邇小学校のホームページをご覧ください。子どもたちの様子を掲載しています。

学校だより「わにっこり」のカラー版は、和邇小学校のホームページから「学校便り」をクリックしてください。また、「校長室より」を開設しましたので、ご覧ください。

シリーズ 「未来への扉」 第5弾 「睡眠の重要性」

このコーナーは、子育てと子どもの幸せをサポートする情報を提供するニュースレターです。子育てのヒントやこれからの時代に大切にしたい教育の話、健康で幸せな生活に役立つ情報を掲載したいと考えています。子どもは「地域の宝」です。未来をたくましく生きる子どもたちにつけてほしい本当の力とはいったい何か、子どもが生涯にわたり幸せに生きていくには、周囲の大人はどんな関わりを大切にしていけば良いのかについて、共に考えていきたいと思っています。



学校のシルバーアロワナ
本文との関連はありません。

第5弾は「睡眠の重要性」についてです。AI（人工知能）の進展を支える脳科学の研究は、これまで人間が重視してこなかった分野に多くの示唆を与えるようになりました。最近では、スポーツ選手が自分のパフォーマンスを最大限に高めるために、睡眠の質の向上を目指し、具体的な手立てを打って成果を上げています。私自身も、睡眠にこだわりを持ってから、体調不良で仕事を休むことがほぼなくなりました。（あくまでも個人的見解です。）

脳は眠っている間に成長します。夜、眠って意識のない間に、脳は働いて、今日一日の出来事を抽象化してセンスに変えたり、知識を定着させたりしています。運動センスについても同じです。今日突然できるようになった逆上がりや縄跳びも、苦勞したサッカーのドリブルも、バスケットボールのシュートも、寝るまでは単なる神経のデータでしかありません。それを眠っている間に消化して運動センスに変えていくわけです。今日失敗したことを眠っている間に脳が記憶し、大切な経験値として次の活動を導いてくれるわけです。しっかり眠ることがいかに重要であるかがわかります。さらに眠ることで成長期に身長が伸びたり、細胞を回復させたり、免疫力を向上させたりします。「寝る子は育つ」のです。

ここで注目したいのは、眠りの深さには就寝時刻が関係していることです。夜の10時から深夜2時までの間に、メラトニンという脳内ホルモンが多く分泌され、このメラトニンが脳を深い眠りに導いてくれます。したがって、「早寝早起き」が大切になってきます。ただし、メラトニンは、目の網膜が光刺激を受けなくなったときに分泌されるので、寝る前にテレビやゲーム、スマホを見ていると、約1時間は光刺激が残りメラトニンの分泌がなくなります。寝る前1時間は光刺激をなくし、遅くとも9時には布団に入り、10時には、しっかり寝ている状態にすることが大切です。

早寝早起きの習慣ができないまま、子どもが大きくなってしまったという保護者からは、「今さらどうしようもない」という声を聞きます。しかし、それは間違いです。脳はいつからでも育て直すことができます。脳には可塑性（かそせい）があり、いつからでも育て直しができ、大人になってからでも可能です。現に、私自身も「睡眠」にこだわりを持ったのが10年ほど前ですから、何歳であっても早寝早起きの生活リズムを作ることは可能です。むしろ、大人たちがちゃんと寝ていないという環境が問題であると思います。仕事にもよりますが、大人たちが早寝早起きをおろそかにしない、寝る前にはメディアから離れるという家庭生活を送っていれば、おのずと子どもたちも早寝早起きの習慣はつきます。

今の子どもたちの睡眠リズムを乱す要因にスマホやゲームがあるとするれば、生涯にわたり幸せに生きていく基盤が失われることとなります。自分自身でメディアとの接触をコントロールでき、納得して生活できる年齢までは、親の責任として利用を制限しながら、子どもと一緒に考え、対話を重視しながら良き手本を示していくことが大事であると思います。



学校のカージナルテトラ
本文との関連はありません。